



2020年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年5月22日

上場会社名 アイエーグループ 株式会社
 コード番号 7509 URL <http://www.ia-group.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 古川 教行

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 岡野 良信

TEL 045-821-7500

定時株主総会開催予定日 2020年6月24日

配当支払開始予定日

2020年6月25日

有価証券報告書提出予定日 2020年6月24日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期の連結業績(2019年4月1日～2020年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	38,160	△0.4	1,159	△12.9	1,297	△11.2	594	△25.9
2019年3月期	38,324	16.8	1,330	49.2	1,461	44.2	801	—

(注) 包括利益 2020年3月期 587百万円 (△28.6%) 2019年3月期 822百万円 (—%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2020年3月期	397.85	—	4.2	4.1	3.0
2019年3月期	532.27	—	5.9	4.6	3.5

(参考) 持分法投資損益 2020年3月期 一百万円 2019年3月期 一百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期	31,749	14,359	44.9	9,555.17
2019年3月期	32,236	14,047	43.4	9,294.19

(参考) 自己資本 2020年3月期 14,243百万円 2019年3月期 13,948百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年3月期	1,120	△616	△512	1,360
2019年3月期	1,867	△2,004	△118	1,368

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2019年3月期	—	60.00	—	100.00	160.00	240	30.2	1.8
2020年3月期	—	60.00	—	60.00	120.00	178	30.2	1.3
2021年3月期(予想)	—	—	—	—	—	—	—	—

2021年3月期(予想)の配当金につきましては、現時点では、未定とさせていただきます。

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響により、現時点では、合理的な算定が困難であるため、未定としてしております。今後、業績予想の開示が可能となった段階で速やかに公表いたします。

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
 新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
 ② 期末自己株式数
 ③ 期中平均株式数

2020年3月期	1,645,360 株	2019年3月期	1,645,360 株
2020年3月期	154,703 株	2019年3月期	144,579 株
2020年3月期	1,493,791 株	2019年3月期	1,506,539 株

(参考) 個別業績の概要

2020年3月期の個別業績(2019年4月1日～2020年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	1,712	5.0	△41	—	168	230.0	129	—
2019年3月期	1,631	5.4	△153	—	51	△59.3	△63	—

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期	86.89	—
2019年3月期	△42.04	—

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円 銭	円 銭	
2020年3月期	16,998	5,994	5,994	35.5	4,021.17			
2019年3月期	16,733	6,166	6,166	36.9	4,109.12			

(参考) 自己資本 2020年3月期 5,994百万円 2019年3月期 6,166百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1.経営成績等の概況 (1) 当期の経営成績の概況」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 連結貸借対照表	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	6
連結損益計算書	6
連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項)	12
(追加情報)	14
(連結貸借対照表関係)	15
(連結損益計算書関係)	16
(連結株主資本等変動計算書関係)	18
(連結キャッシュ・フロー計算書)	19
(セグメント情報等)	20
(1株当たり情報)	24
(重要な後発事象)	24
4. 個別財務諸表及び主な注記	25
(1) 貸借対照表	25
(2) 損益計算書	27
(3) 株主資本等変動計算書	29
(4) 個別財務諸表に関する注記事項	31
(継続企業の前提に関する注記)	31
5. その他	31

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

① 当期の経営成績

当連結会計年度における我が国経済は、政府の経済政策を背景に緩やかな回復基調で推移したものの、当連結会計年度終盤に発生した新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、国内景気は急速に悪化いたしました。

また、個人消費につきましても、雇用・所得環境に改善が見られたものの、2019年10月の消費税率の引き上げによる消費マインドの冷え込みや、相次ぐ自然災害と海外経済における通商問題の不確実性の高まりに加え、感染症拡大の防止対策として行われた外出自粛やイベントの延期・中止等により経済活動が大きく制約され、当連結会計年度の下期である10-3月期における消費環境は大変厳しい状況でありました。

そのような中、当社グループにおいては基幹事業であるカー用品事業は増収減益、ブライダル事業は増収増益となり、建設不動産事業は減収減益となりました。

なお、セグメント別の状況は以下の通りとなります。

(カー用品事業)

上期である第2四半期連結累計期間までにおいては、ドライブレコーダーの需要が商品売上を牽引するとともに、2019年10月からの消費税率の引き上げに備えた駆け込み需要が業績に対し大きく寄与いたしました。しかしながら、下期である第3・第4四半期連結会計期間においては、消費税率引き上げによる駆け込み需要の反動減に加え、全国的かつ記録的な暖冬によりスタッドレスタイヤ・タイヤチェーン等の冬季商品の需要が不振であったことにより、通期においては前年同期と比べ増収減益となりました。

(ブライダル事業)

前期から受注活動を重点的に取り組んだことにより、今期の施行組数が増加いたしました。1-3月期の第4四半期連結会計期間において新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、予定していた婚礼の延期が相当数発生いたしました。通期においては前年同期と比べ増収増益となりました。

(建設不動産事業)

高収益物件の戦略的な売却と、収益性を重視した優良賃貸物件の賃貸稼働率の向上に努めましたが、前期に大型工事案件の引き渡しを行ったこと等により、前年同期と比べ減収減益となりました。

(その他の事業)

売上面ではグループ内店舗の賃貸売上およびコマダ珈琲店舗の売上が寄与し、利益面では前期において不動産取得に伴う費用の計上等を行っていたことにより、前年同期と比べ増収増益となりました。

(総括)

以上の結果、当連結会計年度の売上高は38,160百万円（前年同期比0.4%減）となり、営業利益につきましてもは1,159百万円（前年同期比12.9%減）、経常利益につきましてもは1,297百万円（前年同期比11.2%減）となりました。これにより、親会社株主に帰属する当期純利益は、594百万円（前年同期比25.9%減）となりました。

② 次期（2021年3月期）の見通し

今後の我が国経済見通しにつきましては、現在新型コロナウイルス感染症の拡大が国内外で続く中、企業活動の制限に伴う収益の悪化が経済に及ぼす影響は多大なものになると考えられ、その先行きは非常に不透明な状況が続くものと予想されます。

当社グループにおきましても緊急事態宣言の発令を受け、外出自粛に伴う来店客数の減少や従業員による商品説明を必要とする高単価商材の売れ行き不振、また予約済み婚礼の延期および中止の発生等により、現時点において売上高および利益に対し大きなマイナス影響が出ております。

また、国内景気について感染症拡大の収束に目途がついたのちも、中長期にわたり景気後退懸念等の将来不安に根差す消費マインドの低下により、今後も厳しい消費環境が続くものと考えております。

従いまして、国内外の消費活動の停滞がいつまで続くのかを見通すことは難しく、現時点において業績への影響を合理的に算定することが困難であると判断し、2021年3月期の業績予想は未定とさせていただきます。今後、合理的な予想が可能となった時点で速やかに開示いたします。

こうした中、当社グループとしましては政府や各自治体の方針に従いながら事業活動を継続しており、今後もお客様と従業員および関係者の安全・安心を確保しつつ社会に貢献してまいります。

(2) 当期の財政状態の概況

① 資産、負債及び純資産の状況

当連結会計期間末における総資産は31,749百万円となり、前連結会計年度末と比べ487百万円減少しました。

a. 流動資産

流動資産残高は、11,884百万円（前連結会計年度末比107百万円増）となりました。主な増加要因はたな卸資産の増加（275百万円増）であります。

b. 固定資産

固定資産残高は、19,865百万円（前連結会計年度末比595百万円減）となりました。主な減少要因は、建物及び構築物の減少（687百万円減）によります。

c. 流動負債

流動負債残高は、9,852百万円（前連結会計年度末比147百万円減）となりました。主な減少要因は、買掛金の減少（370百万円減）であります。

d. 固定負債

固定負債残高は、7,537百万円（前連結会計年度末比652百万円減）となりました。主な減少要因は、長期借入金の減少（634百万円減）によります。

e. 純資産

純資産残高は、14,359百万円（前連結会計年度末比312百万円増）となりました。主な増加要因は、利益剰余金の増加（354百万円増）であります。自己資本比率は、44.9%となり前連結会計年度末比1.5ポイントの増加となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」）の残高は1,360百万円となり、前連結会計年度末と比べ8百万円減少しました。

a. 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動による資金は、税金等調整前当期純利益（1,139百万円）などにより、1,120百万円の収入（前連結会計年度は1,867百万円の収入）となりました。

b. 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動による資金は、有形固定資産の取得による支出（655百万円）などにより、616百万円の支出（前連結会計年度は2,004百万円の支出）となりました。

c. 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動による資金は、長期借入金の返済による支出（1,534百万円）などにより、512百万円の支出（前連結会計年度は118百万円の支出）となりました。

（参考）キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2016年3月期	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期
自己資本比率 (%)	44.1	45.8	42.1	43.4	44.9
時価ベースの自己資本比率 (%)	18.5	16.8	17.4	15.5	13.4
キャッシュ・フロー対有利子負債比率 (年)	5.2	7.8	8.8	5.2	9.6
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	38.6	28.8	25.2	35.1	22.3

（注） 自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／営業キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業キャッシュ・フロー／利払い

1. 各指標は、いずれも連結ベースの財務数値により算出しております。

2. 株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式数（自己株式控除後）により算出しております。

3. 有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。

(3) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は、安定的な利益還元を行うことを経営課題の一つとして認識しております。財務体質の一層の強化と将来の事業展開を勘案して、内部留保の蓄積を図るとともに安定した配当を継続することを基本的な方針としております。

この方針のもと、当連結会計年度につきましては、当連結会計年度末の配当金を1株当たり60円として実施することと致しました。従いまして中間配当60円と合わせまして年間1株当たり120円とさせていただきます。

また、次連結会計年度の1株当たり配当金につきましては、未定とさせていただきます。今後、連結業績予想の算定が可能となった時点で速やかに公表いたします。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループの事業は専ら日本国内で行われており、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。なお、国際会計基準の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,418,674	1,360,023
売掛金	1,462,912	1,513,342
たな卸資産	7,916,194	8,191,701
その他	978,391	819,102
流動資産合計	11,776,173	11,884,171
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	7,927,480	7,240,141
土地	6,795,744	6,987,069
リース資産(純額)	80,686	87,917
建設仮勘定	10,637	8,537
その他(純額)	365,168	401,561
有形固定資産合計	15,179,718	14,725,227
無形固定資産		
電話加入権	9,258	9,258
のれん	7,095	—
その他	100,487	86,168
無形固定資産合計	116,841	95,427
投資その他の資産		
投資有価証券	130,443	87,079
長期貸付金	21,740	20,640
長期前払費用	169,568	153,615
差入保証金	3,207,811	3,127,965
繰延税金資産	1,509,534	1,525,424
その他	146,887	150,786
貸倒引当金	△21,740	△20,640
投資その他の資産合計	5,164,246	5,044,871
固定資産合計	20,460,805	19,865,525
資産合計	32,236,979	31,749,696

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,793,386	1,422,433
短期借入金	4,754,740	5,224,023
リース債務	66,915	54,311
未払法人税等	395,812	303,854
未払消費税等	234,291	368,034
未成工事受入金	17,255	43,810
賞与引当金	403,205	409,525
役員賞与引当金	69,700	—
ポイント引当金	49,364	—
その他	2,215,128	2,026,587
流動負債合計	9,999,799	9,852,580
固定負債		
長期借入金	4,906,788	4,272,765
リース債務	95,258	84,752
繰延税金負債	118,314	115,791
長期預り保証金	942,908	788,826
役員退職慰労引当金	454,400	558,800
退職給付に係る負債	511,540	550,553
資産除去債務	1,151,566	1,160,270
その他	8,874	5,808
固定負債合計	8,189,651	7,537,567
負債合計	18,189,450	17,390,147
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,314,100	1,314,100
資本剰余金	1,824,791	1,824,791
利益剰余金	11,305,442	11,660,226
自己株式	△495,328	△531,550
株主資本合計	13,949,004	14,267,567
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	36,896	10,149
退職給付に係る調整累計額	△37,362	△34,236
その他の包括利益累計額合計	△465	△24,086
非支配株主持分	98,989	116,068
純資産合計	14,047,528	14,359,549
負債純資産合計	32,236,979	31,749,696

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
売上高	38,324,659	38,160,798
売上原価	21,626,288	21,502,083
売上総利益	16,698,370	16,658,715
販売費及び一般管理費		
従業員給料	3,979,536	4,014,828
賞与引当金繰入額	383,573	376,737
退職給付費用	29,385	56,037
役員賞与引当金繰入額	69,700	—
役員退職慰労引当金繰入額	104,400	104,400
賃借料	2,578,714	2,447,610
その他	8,222,280	8,499,480
販売費及び一般管理費合計	15,367,590	15,499,094
営業利益	1,330,779	1,159,621
営業外収益		
受取利息及び配当金	23,245	16,803
受取手数料	72,450	81,970
受取販売奨励金	27,184	20,282
受取賃貸料	21,425	19,453
その他	54,123	67,939
営業外収益合計	198,429	206,450
営業外費用		
支払利息	52,614	49,525
その他	14,780	18,826
営業外費用合計	67,394	68,352
経常利益	1,461,815	1,297,718
特別利益		
固定資産売却益	—	703
受取保険金	—	121,846
その他	—	10,094
特別利益合計	—	132,644
特別損失		
店舗閉鎖損失	—	379
固定資産除却損	2,366	5,994
災害による損失	—	135,479
減損損失	21,321	124,989
投資有価証券評価損	112,249	—
その他	1,093	23,529
特別損失合計	137,031	290,372
税金等調整前当期純利益	1,324,783	1,139,990
法人税、住民税及び事業税	656,217	536,614
法人税等調整額	△198,338	△8,008
法人税等合計	457,879	528,606
当期純利益	866,903	611,384
非支配株主に帰属する当期純利益	65,016	17,079
親会社株主に帰属する当期純利益	801,887	594,305

(連結包括利益計算書)

(単位:千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
当期純利益	866,903	611,384
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△6,929	△26,746
繰延ヘッジ損益	229	—
退職給付に係る調整額	△37,362	3,125
その他の包括利益合計	△44,062	△23,620
包括利益	822,841	587,763
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	757,824	570,684
非支配株主に係る包括利益	65,016	17,079

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,314,100	1,824,791	10,685,072	△418,884	13,405,079
当期変動額					
剰余金の配当			△181,517		△181,517
親会社株主に帰属する 当期純利益			801,887		801,887
自己株式の取得				△76,444	△76,444
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	-	-	620,369	△76,444	543,925
当期末残高	1,314,100	1,824,791	11,305,442	△495,328	13,949,004

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ損益	退職給付に係る調 整累計額	その他の包括利益 累計額合計		
当期首残高	43,826	△229	-	43,597	29,972	13,478,648
当期変動額						
剰余金の配当						△181,517
親会社株主に帰属する 当期純利益						801,887
自己株式の取得						△76,444
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	△6,929	229	△37,362	△44,062	69,016	24,953
当期変動額合計	△6,929	229	△37,362	△44,062	69,016	568,879
当期末残高	36,896	-	△37,362	△465	98,989	14,047,528

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,314,100	1,824,791	11,305,442	△495,328	13,949,004
当期変動額					
剰余金の配当			△239,521		△239,521
親会社株主に帰属する 当期純利益			594,305		594,305
自己株式の取得				△36,221	△36,221
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	354,784	△36,221	318,562
当期末残高	1,314,100	1,824,791	11,660,226	△531,550	14,267,567

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ損益	退職給付に係る調 整累計額	その他の包括利益 累計額合計		
当期首残高	36,896	—	△37,362	△465	98,989	14,047,528
当期変動額						
剰余金の配当						△239,521
親会社株主に帰属する 当期純利益						594,305
自己株式の取得						△36,221
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	△26,746	—	3,125	△23,620	17,079	△6,541
当期変動額合計	△26,746	—	3,125	△23,620	17,079	312,020
当期末残高	10,149	—	△34,236	△24,086	116,068	14,359,549

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	1,324,783	1,139,990
減価償却費	1,035,268	1,036,691
長期前払費用償却額	14,918	8,933
その他の償却額	40,879	36,547
減損損失	21,321	124,989
店舗閉鎖損失	—	379
のれん償却額	85,542	7,095
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	42,300	△69,700
賞与引当金の増減額 (△は減少)	5,302	6,320
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△1,130	△1,100
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	19,955	43,515
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	104,400	104,400
ポイント引当金の増減額 (△は減少)	△99,542	△49,364
受取利息及び受取配当金	△23,245	△16,803
支払利息	52,614	49,525
受取保険金	—	△121,846
災害損失	—	124,232
固定資産売却損益 (△は益)	—	△703
固定資産除却損	2,366	5,994
固定資産圧縮損	—	10,509
売上債権の増減額 (△は増加)	△80,590	△50,430
たな卸資産の増減額 (△は増加)	327,458	△275,507
仕入債務の増減額 (△は減少)	154,356	△370,953
未成工事受入金の増減額 (△は減少)	△363,868	26,555
未払消費税等の増減額 (△は減少)	174,610	205,276
その他	△40,411	△175,222
小計	2,797,290	1,799,324
利息及び配当金の受取額	3,978	4,002
利息の支払額	△53,216	△50,306
リース契約解除に伴う支払額	—	△1,064
保険金の受取額	—	121,846
災害損失の支払額	—	△124,232
法人税等の支払額	△891,072	△724,393
法人税等の還付額	10,480	94,860
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,867,459	1,120,037

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△3,413,875	△655,498
有形固定資産の売却による収入	—	703
無形固定資産の取得による支出	△13,483	△23,471
投資有価証券の取得による支出	△112,410	△5,164
定期預金の預入による支出	△50,000	—
定期預金の払戻による収入	50,000	50,000
貸付金の回収による収入	1,130	1,100
長期前払費用の取得による支出	△5,879	△4,505
差入保証金の差入による支出	△32,219	△1,123
差入保証金の回収による収入	1,576,776	25,837
その他	△4,937	△3,898
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,004,898	△616,021
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	82,990	1,040,000
長期借入れによる収入	3,244,000	330,000
長期借入金の返済による支出	△3,098,563	△1,534,740
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△93,427	△72,192
配当金の支払額	△181,248	△239,513
自己株式の取得による支出	△76,444	△36,221
非支配株主からの払込みによる収入	4,000	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△118,693	△512,666
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△256,131	△8,650
現金及び現金同等物の期首残高	1,624,806	1,368,674
現金及び現金同等物の期末残高	1,368,674	1,360,023

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項)

1 連結の範囲に関する事項

(1) 連結子会社の数12社

連結子会社の名称

(株)アイエー

(株)アイエーオートボックス

(株)アイエーマネージメントサービス

(株)アルカンシエル

(株)アルカンシエルガーデン名古屋

(株)アルカンシエルプロデュース

(株)アイディーエム

(株)アイディーエムパートナーズ

(株)IDMobile

(株)IAGアセット

(株)IAGコンストラクション

(株)エフ・エム・クラフト

(2) 非連結子会社

該当事項はありません。

2 持分法の適用に関する事項

該当事項はありません。

3 連結子会社の事業年度等に関する事項

連結子会社の決算日は、連結決算日と一致しております。

4 会計方針に関する事項

(1) 重要な資産の評価基準及び評価方法

イ 有価証券

その他有価証券

時価のあるもの

期末日の市場価格等に基づく時価法（評価差額は全部純資産直入法により処理、売却原価は移動平均法により算定）

時価のないもの

移動平均法による原価法

ロ デリバティブ

時価法

ハ たな卸資産

評価基準は原価法（収益性の低下による簿価切下げの方法）によっております。

オートボックス商品

移動平均法による原価法

販売用車輛

個別法による原価法

販売用不動産及び未成工事支出金

個別法による原価法

原材料及び貯蔵品

最終仕入原価法による原価法

(2) 重要な減価償却資産の減価償却の方法

- イ 有形固定資産（リース資産を除く）
建物（建物附属設備を除く）

- 定額法

- 建物以外の有形固定資産

- 定率法

2016年4月1日以降に取得した建物附属設備及び構築物については、定額法を採用しております。

なお、事業用定期借地契約による借地上の建物及び構築物につきましては、主に耐用年数を定期借地権の残存年数とした定額法によっております。

耐用年数は次のとおりであります。

建物及び構築物 2年～45年

- ロ 無形固定資産（リース資産を除く）

- 定額法

なお、耐用年数は、次のとおりであります。

ソフトウェア 5年

- ハ リース資産

所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産

リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用しております。

- ニ 長期前払費用

- 定額法

(3) 重要な引当金の計上基準

- イ 貸倒引当金

債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収の可能性を勘案し、回収不能見込額を計上しております。

- ロ 賞与引当金

従業員の賞与支給に備えるため、賞与支給見込額のうち当連結会計年度に負担すべき額を計上しております。

- ハ 役員賞与引当金

役員に対して支給する賞与の支出に充てるため、支給見込額のうち当連結会計年度に負担すべき額を計上しております。

- ニ ポイント引当金

顧客に付与されたポイントの使用による売上値引発生に備えるため、当連結会計年度末において将来使用されると見込まれる額を計上しております。

- ホ 役員退職慰労引当金

役員の特別功労金支給に備えるため、内規に基づく当連結会計年度末要支給額を計上しております。

(4) 退職給付に係る会計処理の方法

- イ 退職給付見込額の期間帰属方法

退職給付債務の算定にあたり、退職給付見込額を当連結会計年度末までの期間に帰属させる方法については、期間定額基準によっております。

なお、一部の連結子会社については退職給付に係る負債及び退職給付費用の計算に、退職給付に係る期末自己都合要支給額を退職給付債務とする方法を用いた簡便法を適用しております。

- ロ 数理計算上の差異及び過去勤務費用の費用処理方法

過去勤務費用は、その発生時に従業員の平均残存期間以内の一定の年数（12年～13年）による定額法により費用処理しております。

数理計算上の差異は、発生時に全額費用処理しております。

- ハ 未認識過去勤務費用

未認識過去勤務費用の会計処理については、税効果を調整の上、純資産の部におけるその他の包括利益累計額の退職給付に係る調整累計額に計上しております。

(5) 重要なヘッジ会計の方法

イ ヘッジ会計の方法

繰延ヘッジ処理を採用しております。

ロ ヘッジ手段とヘッジ対象

当連結会計年度にヘッジ会計を適用したヘッジ対象とヘッジ手段は以下のとおりであります。

ヘッジ対象・・・借入金

ヘッジ手段・・・金利スワップ、金利オプション

ハ ヘッジ方針

主に当社の「デリバティブ取引に関する内規」に基づき、金利変動リスクをヘッジしております。

ニ ヘッジ有効性評価の方法

ヘッジ対象の相場変動又はキャッシュ・フロー変動の累計を比較し、その変動額の比率によって有効性を評価しております。

ただし、特例処理によっている金利スワップについては、有効性の評価を省略しております。

(6) のれんの償却方法及び償却期間

のれんの償却については、5年間の定額法により償却を行っております。

(7) 連結キャッシュ・フロー計算書における資金の範囲

手許現金、随時引き出し可能な預金及び容易に換金可能であり、かつ、価値の変動について僅少なりリスクしか負わない取得日から3ヶ月以内に償還期限の到来する短期投資からなっております。

(8) その他連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項

消費税等の会計処理

税抜方式によっております。

(追加情報)

新型コロナウイルス感染症の拡大及び2020年4月7日に発令された緊急事態宣言により、プライダル事業については大幅に営業活動を縮小しています。

当該営業活動の縮小は当社グループの今後の業績に影響を及ぼしますが、その影響が6カ月程度継続するものと仮定して繰延税金資産の回収可能性及び固定資産の減損会計等の会計上の見積りを行っております。

(連結貸借対照表関係)

※1 担保に供している資産

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
預金	50,000千円	一千円
建物及び構築物	437,361	406,755
土地	2,313,870	2,313,870
投資有価証券	27,600	18,690
合計	2,828,832	2,739,316

上記に対応する債務

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
短期借入金	3,132,951千円	3,848,011千円
長期借入金	3,335,359	2,913,348
合計	6,468,310	6,761,359

なお、上記の他、販売用不動産（前連結会計年度1,260,531千円、当連結会計年度1,268,060千円）については登記留保として提供しております。

対応する債務は、短期借入金（前連結会計年度84,000千円、当連結会計年度84,000千円）及び長期借入金（前連結会計年度554,000千円、当連結会計年度470,000千円）であります。

※2 有形固定資産の減価償却累計額

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
	14,259,217千円	15,304,751千円

なお、上記減価償却累計額には、減損損失累計額が含まれております。

※3 たな卸資産の内訳

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
商品	2,992,075千円	3,244,433千円
販売用不動産	4,805,480	4,804,160
未成工事支出金	38,066	68,170
原材料及び貯蔵品	80,572	74,938

(連結損益計算書関係)

※1 期末たな卸高は、収益性の低下に伴う簿価切下後の金額であり、次のたな卸資産評価損が売上原価に含まれております。

前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
△1,433千円	39,918千円

※2 固定資産売却益の内訳は、次のとおりであります。

前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
その他	703
合計	703

※3 固定資産除却損の内訳は、次のとおりであります。

前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
建物及び構築物	4,019千円
ソフトウェア	1,974
その他	
合計	5,994

※5 減損損失の内容は、次のとおりであります。

前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

当連結会計年度において、当社グループは以下の資産グループについて減損損失を計上しました。

(1)減損損失を認識した主な資産

場所	用途	種類
コメダ珈琲横浜元町店 (横浜市中区)	コメダ珈琲店舗設備	建物及び構築物、リース資産、その他

(2) 減損損失の認識に至った経緯

上記店舗については、閉店の意思決定を行ったことにより、帳簿価額から備忘価額を残し全額を減損損失として特別損失に計上しました。

(3) 減損損失の金額及び内容

建物及び構築物	17,938千円
リース資産	2,546千円
その他	836千円
合計	21,321千円

(4) 資産のグルーピング方法

当社グループは、本社・店舗ごと、また賃貸用不動産については物件ごとにグルーピングをしております。

(5) 回収可能価額の算定方法

上記閉店を決定した店舗について、帳簿価額を回収可能価額(使用価値)まで減額し、当該減少額を減損損失として計上しております。

なお、使用価値については、将来キャッシュ・フローが見込めないため備忘価額により評価しております。

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

当連結会計年度において、当社グループは以下の資産グループについて減損損失を計上しました。

(1)減損損失を認識した主な資産

場所	用途	種類
アルカンシエルベリテ大阪 (大阪市此花区)	アルカンシエル店舗設備	建物及び構築物、リース資産、その他
オートボックス秋田大曲店 (秋田県大仙市)	オートボックス店舗設備	建物及び構築物、リース資産

(2) 減損損失の認識に至った経緯

アルカンシエルベリテ大阪については、閉店の意思決定を行ったことにより、帳簿価額から備忘価額を残し全額を減損損失として特別損失に計上しました。

オートボックス秋田大曲店については、営業活動から生ずる損益が継続してマイナスであることから投資額の回収が見込まれない状況となったため、帳簿価額から備忘価額を残し全額を減損損失として特別損失に計上しました。

(3) 減損損失の金額及び内容

建物及び構築物	114,503千円
その他	10,486千円
合計	124,989千円

(4) 資産のグルーピング方法

当社グループは、本社・店舗ごと、また賃貸用不動産については物件ごとにグルーピングをしております。

(5) 回収可能価額の算定方法

上記閉店を決定した店舗について、帳簿価額を回収可能価額(使用価値)まで減額し、当該減少額を減損損失として計上しております。

なお、使用価値については、将来キャッシュ・フローが見込めないため備忘価額により評価しております。

(連結株主資本等変動計算書関係)

前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

1 発行済株式に関する事項

株式の種類	当連結会計年度期首	増加	減少	当連結会計年度末
普通株式(株)	1,645,360	-	-	1,645,360

2 自己株式に関する事項

株式の種類	当連結会計年度期首	増加	減少	当連結会計年度末
普通株式(株)	124,551	20,028	-	144,579

(変動事由の概要)

増加数の主な内訳は、次のとおりであります。

取締役会決議に基づく自己株式取得による増加 20,000株
 単元未満株式の買取りによる増加 28株

3 新株予約権等に関する事項

該当事項はありません。

4 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配当額 (円)	基準日	効力発生日
2018年5月11日 取締役会	普通株式	91,248	60.0	2018年3月31日	2018年6月27日
2018年11月2日 取締役会	普通株式	90,268	60.0	2018年9月30日	2018年12月7日

(2) 基準日が当連結会計年度に属する配当のうち、配当の効力発生日が翌連結会計年度となるもの

決議	株式の種類	配当の原資	配当金の総額 (千円)	1株当たり配当額 (円)	基準日	効力発生日
2019年5月10日 取締役会	普通株式	利益剰余金	150,078	100.0	2019年3月31日	2019年6月26日

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

1 発行済株式に関する事項

株式の種類	当連結会計年度期首	増加	減少	当連結会計年度末
普通株式(株)	1,645,360	—	—	1,645,360

2 自己株式に関する事項

株式の種類	当連結会計年度期首	増加	減少	当連結会計年度末
普通株式(株)	144,579	10,124	—	154,703

(変動事由の概要)

増加数の主な内訳は、次のとおりであります。

取締役会決議に基づく自己株式取得による増加	10,000株
単元未満株式の買取りによる増加	124株

3 新株予約権等に関する事項

該当事項はありません。

4 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配当額 (円)	基準日	効力発生日
2019年5月10日 取締役会	普通株式	150,078	100.0	2019年3月31日	2019年6月26日
2019年11月8日 取締役会	普通株式	89,443	60.0	2019年9月30日	2019年12月6日

(2) 基準日が当連結会計年度に属する配当のうち、配当の効力発生日が翌連結会計年度となるもの

決議	株式の種類	配当の原資	配当金の総額 (千円)	1株当たり配当額 (円)	基準日	効力発生日
2020年5月22日 取締役会	普通株式	利益剰余金	89,439	60.0	2020年3月31日	2020年6月25日

(連結キャッシュ・フロー計算書関係)

※1 現金及び現金同等物の期末残高と連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
現金及び預金勘定	1,418,674千円	1,360,023千円
預け期間3か月超の定期預金	△50,000	—
現金及び現金同等物	1,368,674	1,360,023

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分に関する意思決定を行い、かつ、業績評価をするために、定期的に検討を行う対象となっているものです。

当社の事業区分は、当社の内部管理上採用している区分をベースに、オートボックス商品の販売を行う「カー用品事業」、結婚式の請負を行う「ブライダル事業」、建設工事・戸建住宅建設販売を行う「建設不動産事業」を報告セグメントとしております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結財務諸表 計上額
	カー用品事業	ブライダル事業	建設不動産事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	26,307,564	7,978,063	3,711,254	37,996,882	327,776	38,324,659	-	38,324,659
セグメント間の内部売上高又は振替高	3,190	820	290,583	294,593	1,303,763	1,598,356	△1,598,356	-
計	26,310,754	7,978,883	4,001,837	38,291,475	1,631,539	39,923,015	△1,598,356	38,324,659
セグメント利益又は損失 (△)	1,206,648	△181,898	455,734	1,480,484	△153,767	1,326,717	4,062	1,330,779
セグメント資産	10,319,635	6,762,434	6,669,516	23,751,586	16,791,907	40,543,494	△8,306,515	32,236,979
その他の項目								
減価償却費	161,415	683,271	16,210	860,897	217,663	1,078,561	△2,680	1,075,880
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	163,739	132,594	5,504	301,838	3,129,372	3,431,211	△3,851	3,427,359

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、飲食事業及び経理・総務代行業務等を含んでおります。

2. 調整額は、以下のとおりであります。

(1) セグメント利益又は損失調整額は、セグメント間取引消去であります。

(2) セグメント資産の調整額は、債権の相殺消去△4,593,839千円、投資の消去△3,692,124千円が含まれております。

(3) セグメント利益又は損失は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結財務諸表 計上額
	カー用品事業	プライダル事業	建設不動産事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	26,576,331	8,652,227	2,603,622	37,832,182	328,616	38,160,798	—	38,160,798
セグメント間の内部売上高又は振替高	10,070	100	268,781	278,951	1,384,329	1,663,281	△1,663,281	—
計	26,586,401	8,652,327	2,872,404	38,111,133	1,712,946	39,824,080	△1,663,281	38,160,798
セグメント利益又は損失 (△)	1,023,905	△103,456	276,441	1,196,891	△41,017	1,155,873	3,747	1,159,621
セグメント資産	10,309,132	6,138,120	6,811,778	23,259,031	17,055,472	40,314,503	△8,564,807	31,749,696
その他の項目								
減価償却費	171,679	647,769	18,746	838,196	244,770	1,082,967	△2,856	1,080,111
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	340,092	86,688	12,596	439,377	307,883	747,260	△4,283	742,977

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、飲食事業及び経理・総務代行業務等を含んでおります。

2. 調整額は、以下のとおりであります。

(1) セグメント利益又は損失調整額は、セグメント間取引消去であります。

(2) セグメント資産の調整額は、債権の相殺消去△4,851,086千円、投資の消去△3,692,124千円が含まれております。

(3) セグメント利益又は損失は、連結財務諸表の営業利益と調整を行なっております。

【関連情報】

前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

(単位:千円)

	カー用品事業	プライダル事業	建設不動産事業	その他	合計
外部顧客への売上高	26,307,564	7,978,063	3,711,254	327,776	38,324,659

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

当社は本邦以外の国又は地域に所在する支店ならびに連結子会社がないため、当該事項はありません。

(2) 有形固定資産

当社は本邦以外の国又は地域に所在する支店ならびに連結子会社がないため、当該事項はありません。

3. 主要な顧客ごとの情報

連結損益計算書の売上高の10%以上を占める外部顧客はありません。

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

(単位:千円)

	カー用品事業	ブライダル事業	建設不動産事業	その他	合計
外部顧客への売上高	26,576,331	8,652,227	2,603,622	328,616	38,160,798

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

当社は本邦以外の国又は地域に所在する支店ならびに連結子会社がないため、当該事項はありません。

(2) 有形固定資産

当社は本邦以外の国又は地域に所在する支店ならびに連結子会社がないため、当該事項はありません。

3. 主要な顧客ごとの情報

連結損益計算書の売上高の10%以上を占める外部顧客はありません。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:千円)

	カー用品事業	ブライダル事業	建設不動産事業	その他	合計
減損損失	-	-	-	21,321	21,321

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:千円)

	カー用品事業	ブライダル事業	建設不動産事業	その他	合計
減損損失	0	92,297	0	32,692	124,989

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度（自 2018年4月1日 至 2019年3月31日）

（単位：千円）

	カー用品事業	ブライダル事業	建設不動産事業	その他	合計
当期償却額	85,542	－	－	－	85,542
当期末残高	7,095	－	－	－	7,095

当連結会計年度（自 2019年4月1日 至 2020年3月31日）

（単位：千円）

	カー用品事業	ブライダル事業	建設不動産事業	その他	合計
当期償却額	7,095	－	－	－	7,095
当期末残高	－	－	－	－	－

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

前連結会計年度（自 2018年4月1日 至 2019年3月31日）

該当事項はありません。

当連結会計年度（自 2019年4月1日 至 2020年3月31日）

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

項目	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
1株当たり純資産額	9,294円19銭	9,555円17銭
1株当たり当期純利益	532円27銭 なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載していません。	397円85銭 なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載していません。

1 1株当たり純資産額

項目	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
連結貸借対照表の純資産の部の合計額(千円)	14,047,528	14,359,549
普通株式に係る純資産額(千円)	13,948,539	14,243,480
差額の主な内訳(千円)	98,989	116,068
普通株式の発行済株式数(株)	1,645,360	1,645,360
普通株式の自己株式数(株)	144,579	154,703
1株当たり純資産額の算定に用いられた普通株式の数(株)	1,500,781	1,490,657

2 1株当たり当期純利益

項目	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	801,887	594,305
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	801,887	594,305
普通株式の期中平均株式数(株)	1,506,539	1,493,791

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. 個別財務諸表及び主な注記

(1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当事業年度 (2020年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	93,857	154,249
売掛金	5,612	8,531
原材料及び貯蔵品	2,082	2,468
前払費用	47,729	47,668
関係会社短期貸付金	2,030,350	2,633,350
未収入金	185,335	61,561
立替金	5,280	5,178
その他	—	0
流動資産合計	2,370,247	2,913,007
固定資産		
有形固定資産		
建物	2,866,694	2,737,581
構築物	61,537	47,282
車両運搬具	6,163	10,096
工具、器具及び備品	10,243	9,081
土地	6,016,337	6,207,662
リース資産	11,199	8,772
有形固定資産合計	8,972,175	9,020,476
無形固定資産		
ソフトウェア	62,690	46,433
無形固定資産合計	62,690	46,433
投資その他の資産		
投資有価証券	119,293	85,929
関係会社株式	3,692,124	3,692,124
出資金	14,490	14,490
関係会社長期貸付金	557,500	270,500
長期前払費用	10,651	8,034
生命保険積立金	129,798	133,520
差入保証金	569,505	563,691
繰延税金資産	234,783	249,995
投資その他の資産合計	5,328,146	5,018,284
固定資産合計	14,363,011	14,085,194
資産合計	16,733,259	16,998,201

(単位:千円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当事業年度 (2020年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	9,071	8,096
短期借入金	5,105,000	5,955,000
1年内返済予定の長期借入金	960,730	655,085
リース債務	8,289	6,843
未払金	5,433	27,691
未払費用	80,578	30,550
未払法人税等	—	16,449
未払消費税等	—	99,814
前受金	9,447	10,458
預り金	7,892	4,305
役員賞与引当金	30,500	—
賞与引当金	20,790	22,465
流動負債合計	6,237,733	6,836,759
固定負債		
長期借入金	3,601,748	3,359,163
リース債務	11,843	6,699
退職給付引当金	37,999	40,120
役員退職慰労引当金	414,100	478,200
長期預り保証金	71,514	91,514
資産除去債務	191,434	191,558
固定負債合計	4,328,638	4,167,256
負債合計	10,566,371	11,004,015
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,314,100	1,314,100
資本剰余金		
資本準備金	1,824,791	1,824,791
資本剰余金合計	1,824,791	1,824,791
利益剰余金		
利益準備金	72,459	72,459
その他利益剰余金		
別途積立金	2,692,000	2,692,000
繰越利益剰余金	721,969	612,236
利益剰余金合計	3,486,428	3,376,695
自己株式	△495,328	△531,550
株主資本合計	6,129,990	5,984,036
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	36,896	10,149
評価・換算差額等合計	36,896	10,149
純資産合計	6,166,887	5,994,186
負債純資産合計	16,733,259	16,998,201

(2) 損益計算書

(単位:千円)

	前事業年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
営業収益		
不動産賃貸収入	845,973	916,692
関係会社受入手数料	468,724	478,800
飲食売上高	316,842	317,453
営業収益合計	1,631,539	1,712,946
営業原価		
不動産賃貸原価	554,167	599,535
飲食売上原価	102,958	101,736
営業原価合計	657,125	701,271
営業総利益	974,413	1,011,674
販売費及び一般管理費	1,128,327	1,052,692
営業損失	△153,914	△41,017
営業外収益		
受取利息	24,336	19,916
受取配当金	209,582	222,188
受取手数料	1,461	1,426
その他	18,604	16,985
営業外収益合計	253,985	260,516
営業外費用		
支払利息	47,840	50,783
その他	1,140	249
営業外費用合計	48,981	51,033
経常利益	51,090	168,465
特別利益		
固定資産売却益	—	703
受取保険金	—	27,500
特別利益合計	—	28,203
特別損失		
固定資産除却損	—	123
投資有価証券評価損	112,249	—
店舗閉鎖損失	—	379
リース解約損	—	1,064
災害による損失	—	24,916
減損損失	21,321	32,692
その他	—	6,500
特別損失合計	133,571	65,676
税引前当期純利益又は税引前当期純損失(△)	△82,481	130,993
法人税、住民税及び事業税	4,198	4,634
法人税等調整額	△23,350	△3,429
法人税等合計	△19,152	1,204
当期純利益又は当期純損失(△)	△63,328	129,788

【売上原価明細表】

前事業年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)		当事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	
飲食売上原価明細表		飲食売上原価明細表	
	(千円)		(千円)
期首飲食材料棚卸高	1,342	期首飲食材料棚卸高	1,050
期中飲食材料仕入高	102,665	期中飲食材料仕入高	102,213
期末飲食材料棚卸高	1,050	期末飲食材料棚卸高	1,527
飲食売上原価	102,958	飲食売上原価	101,736

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位: 千円)

	株主資本						
	資本金	資本剰余金		利益準備金	利益剰余金		利益剰余金合計
		資本準備金	資本剰余金合計		その他利益剰余金		
					別途積立金	繰越利益剰余金	
当期首残高	1,314,100	1,824,791	1,824,791	72,459	2,692,000	966,815	3,731,274
当期変動額							
剰余金の配当						△181,517	△181,517
当期純損失(△)						△63,328	△63,328
自己株式の取得							
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)							
当期変動額合計	-	-	-	-	-	△244,846	△244,846
当期末残高	1,314,100	1,824,791	1,824,791	72,459	2,692,000	721,969	3,486,428

	株主資本		評価・換算差額等			純資産合計
	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ損益	評価・換算差 額等合計	
当期首残高	△418,884	6,451,281	43,826	△229	43,597	6,494,878
当期変動額						
剰余金の配当		△181,517				△181,517
当期純損失(△)		△63,328				△63,328
自己株式の取得	△76,444	△76,444				△76,444
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)			△6,929	229	△6,700	△6,700
当期変動額合計	△76,444	△321,290	△6,929	229	△6,700	△327,990
当期末残高	△495,328	6,129,990	36,896	-	36,896	6,166,887

当事業年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本						
	資本金	資本剰余金		利益準備金	利益剰余金		利益剰余金合計
		資本準備金	資本剰余金合計		別途積立金	繰越利益剰余金	
当期首残高	1,314,100	1,824,791	1,824,791	72,459	2,692,000	721,969	3,486,428
当期変動額							
剰余金の配当						△239,521	△239,521
当期純利益						129,788	129,788
自己株式の取得							
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)							
当期変動額合計	—	—	—	—	—	△109,732	△109,732
当期末残高	1,314,100	1,824,791	1,824,791	72,459	2,692,000	612,236	3,376,695

	株主資本		評価・換算差額等			純資産合計
	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ損益	評価・換算差 額等合計	
当期首残高	△495,328	6,129,990	36,896	—	36,896	6,166,887
当期変動額						
剰余金の配当		△239,521				△239,521
当期純利益		129,788				129,788
自己株式の取得	△36,221	△36,221				△36,221
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)			△26,746		△26,746	△26,746
当期変動額合計	△36,221	△145,954	△26,746	—	△26,746	△172,701
当期末残高	△531,550	5,984,036	10,149	—	10,149	5,994,186

(4) 個別財務諸表に関する注記事項
(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

5. その他

該当事項はありません。